

平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立清原北小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成31年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

4 本校の参加状況

- ① 国語 18人
- ② 算数 18人

5 留意事項

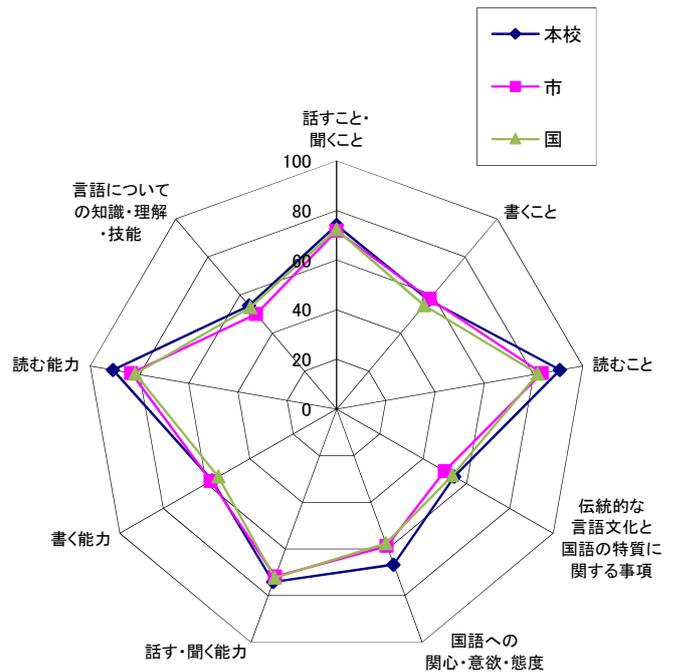
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、
「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立清原北小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.1	71.8	72.3
	書くこと	57.4	58.0	54.5
	読むこと	90.7	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	54.4	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	66.7	58.7	57.6
	話す・聞く能力	74.1	71.8	72.3
	書く能力	57.4	58.0	54.5
	読む能力	90.7	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	54.4	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

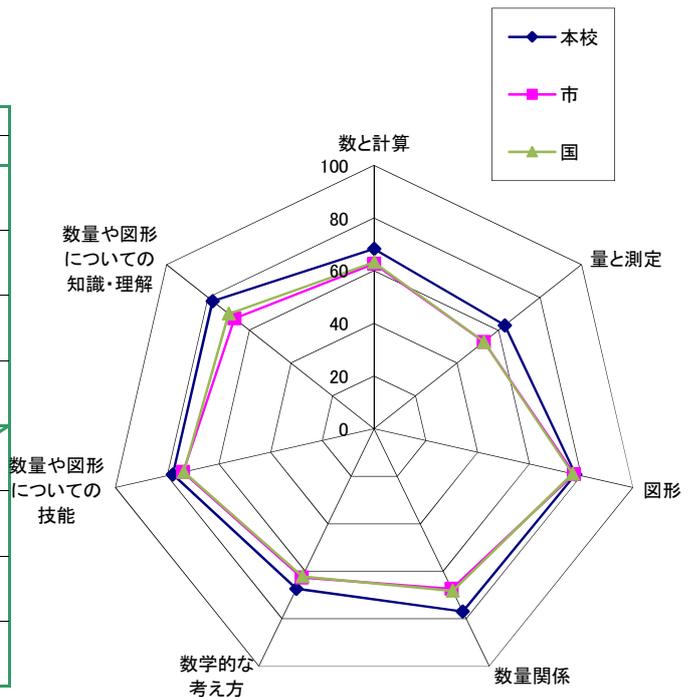
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市や国より2ポイント高い。</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認する問題においては、正答率が83%と高い。</p> <p>●目的に応じて、質問を工夫する問題については、正答率が66.7%とやや低い。</p>	<p>・朝の会の中で実施している、児童が互いにインタビューを行う活動などを通して、話し手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開に沿って質問をしたりすることができるよう指導する。</p> <p>・会話科において、相手意識を大切に実践的コミュニケーション力の育成を行い、継続的に指導する。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、市より1ポイント低く、国より3ポイント高い。</p> <p>○図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができている。</p> <p>●目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことの正答率は39%だが、国より10ポイント高い。</p>	<p>・図表やグラフなどの資料について、それらが文章の中でどのような目的で扱われているか、どのような内容を示しているかを読み取れるよう指導していく。また、資料を活用した文章の書き方の指導を行う。</p> <p>・引き続き短作文を書く活動に取り組みせ、字数を意識して書くことに慣れさせる。また相手の意図を捉えて自分の考えを述べるなど、内容的な条件を満たして文章を書く活動を取り入れる。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、市より7ポイント、国より9ポイント高い。</p> <p>○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む問題の正答率は100%だった。</p>	<p>・文章の内容を的確に捉えて読んだり、筆者の意図を考えながら読んだりするだけでなく、それに対して自分はどう考えたのか書く活動を意図的に取り入れる。</p> <p>・引き続き、伝記や感想文、報告文など様々な目的で書かれた文章や、レポートやレシピ、メモなど様々な形態の文章などにも触れられるよう、読書活動の充実を図る。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、市より4ポイント、国より1ポイント高い。</p> <p>●漢字を文の中で正しく使う問題については数問出題されたが、同音異義語についての正答率が22%、50%と低かった。</p>	<p>・漢字の学習については、家庭学習等で取り組ませるなど、継続的に指導する。また、文章の中で活用できるよう、作文指導の際に辞書を用いて推敲させる。</p>

宇都宮市立清原北小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	68.3	62.7	63.2
	量と測定	63.0	52.9	52.9
	図形	77.8	77.3	76.7
	数量関係	77.0	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	67.4	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	77.8	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	77.8	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市より6ポイント、国より5ポイント高い。</p> <p>○棒グラフを読み取る問題では、正答率が94%と高い。</p> <p>●示された減法に関して成り立つ性質をもとにした計算の仕方を解釈し適用する問題では、平均正答率が72%とやや低い。</p>	<p>・グラフの読み取り、基本的な計算の仕方や意味についてはよく理解できているので、今後も基礎的な問題に繰り返し取り組ませ、落ち着いて問題に取り掛かることができるようにさせる。</p> <p>・計算のきまりについて再度確認し、きまりを使って正しく計算できるようにするだけでなく、言葉で説明することができるようにする。</p>
量と測定	<p>平均正答率は、市・国より10ポイント高い。</p> <p>○場面の状況から、単量当たりの大きさをもとに、求め方と答えを記述する問題では、正答率が78%と国に比べて18ポイントほど高い。</p> <p>●図や式、読み取った情報などから求め方などを記述する問題では、正答率は低かった。</p>	<p>・図形やグラフなどから情報を読み取り、図形や式、数量などを関連付けながら、筋道を立てて考察したり表現したりすることができるように、授業の中で児童に説明する機会を設け、筋道を立てた説明の仕方を身に付けさせる。</p>
図形	<p>平均正答率は、市や国より1ポイント高い。</p> <p>○台形について理解している。</p> <p>●図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成する問題では、正答率が低かった。</p>	<p>・実際に図形を描いたり作ったりすることで、図形の性質や構成要素に着目させ、図形についての実感的な理解を深めるようにする。</p>
数量関係	<p>平均正答率は、市より10ポイント、国より9ポイント高い。</p> <p>○棒グラフの読み取りはよくできている。</p> <p>●</p>	<p>・資料から情報を正しく読み取ることができるように、資料や図に必要な情報を書き込んで問題を解く習慣を身に付けさせる。また、見直しをする習慣を身に付けさせる。</p>

宇都宮市立清原北小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の肯定割合が高い。自分を大切に思い、向上心をもって学校生活に取り組んでいる児童が多いと思われるため、引き続き、個性やよさを認め、適切に励ましながらか支援していく。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の肯定割合は、100%であり、いじめをしてはいけないことを十分に理解している。今後も道徳や学級活動の時間を中心に日常生活の中で工夫をし、判断力と実践力を培っていく。

○「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」、「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の肯定割合は高い。普段の英会話の学習から外国や外国人に関心が高く、日本と外国の文化の違いなどにも興味があると思われるため、引き続き英会話の時間の充実を図り、学校生活において英会話に触れる機会をつくっていく。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の肯定割合が、県よりわずかに低い。放課後等活動KASAの時間に宿題や自主学習に取り組む児童が多いが、自ら計画を立て、学習に取り組めるよう学習の仕方を確認したり、助言したりするとともに、保護者へ協力を呼び掛ける。

●「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」、「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか」の回答から学習においてコンピュータなどのICTを十分に活用できていない。ゲームや動画視聴などにコンピュータなどを利用している児童が多いが、各学習において調べ学習やまとめなどの際に効果的に活用できるように指導していく。

●「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたいと思いますか」の肯定割合が県よりも低い。話し合うことのよさや大切さに気付かせるため、学級活動の話し合い活動を充実させるとともに、学習の中でペア、グループなどで課題について話し合う場を設けていく。

宇都宮市立清原北小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
児童一人一人の達成感や 成就感を高めるための指 導の工夫	・学習意欲を高める導入の工夫や、めあ ての提示と見直し、学習の振り返りを徹 底した授業づくり ・児童の興味関心に合った題材の選択や 他教科との関連を意識した授業の工夫 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入 れた教材や授業展開の工夫	「算数の問題の解き方が分からないときは、諦め ずにいろいろな方法で考えていますか」の肯定割 合は9割以上と高い。一方で、「算数の授業で新し い問題に出合った時、それを解いてみたいと思 いますか」の肯定割合は、県・国を下回っている。
基礎的基本的な学習内容 の定着のための取組	・朝の学習の時間における漢字・計算な どのドリル学習等や既習学年の学習内 容の復習 ・複数単元の内容をまとめた復習を行う ための学期末「パワーアップウィーク」の 実施	「言語についての知識・理解・技能」の正答率が、 54.4ポイントと低い。また、「算数の授業の内容はよ く分かりますか」の肯定割合は、県・国を下回っ ている。
対話的で深い学びを实践 するための授業展開の工 夫	・言語活動の充実や学び合いの場の設 定 ・グループ学習やペア学習など学習形態 の工夫	「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができている」、「学級会で話し合 い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決め ている」の肯定割合が県よりも低い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
児童質問紙において、「家で自分で計 画を立てて勉強をしていますか」や「家 で、学校の授業の復習をしている」の肯 定割合が市・県と比べて低い。	家庭学習の充実と習慣化	・自分で計画を立てて家庭学習に取り組めるよう 宿題の出し方や内容の工夫 ・自主学習の内容例や取組方法の提示、よい実践 の紹介 ・保護者が自主学習の取組を認め励ます機会の設 定